

# 感染症情報 9月9日～15日

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①手足口病	971例(堺市	50例)
②感染性胃腸炎	602例(堺市	47例)
③溶連菌感染症	393例(堺市	47例)
④RSウイルス感染症	165例(堺市	19例)
⑤ヘルパンギーナ	59例(堺市	4例)

府下306医療機関(堺市29)から

**インフルエンザ** 94例(堺市 6例)

報告数による順位である。前週比1.3%増の2,335件であった。手足口病が府下で5%増、堺市で前週72例→今回50例であった。北河内で8.60、大阪市北部7.14など5地区で定点当たり警報レベル開始基準値5を超えている。大阪府では4.93、堺市は2.63であった。感染性胃腸炎が府下で前週から3%減、堺市で前週55例→今回47例であった。溶連菌感染症が府下で11%増、堺市で前週・今回とも47例であった。RSウイルス感染症が府下で5%減、堺市で前週23例→今回19例であった。ヘルパンギーナが府下で17%減、堺市で5例→4例であった。

基幹定点だけが報告するマイコプラズマ肺炎は、大阪府で43例→49例で14%増。堺市で11例→7例であった。

インフルエンザが府下で前週131例→今回94例は28%減であった。堺市で前週1例→今回6例であった。

府下306医療機関(堺市29)から

**新型コロナウイルス感染症** 890例(堺市 87例)  
大阪府定点 2.91 堺市定点 3.00

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
39	78	107	170	50	40	63	90	58	99	96	890

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前回1,231例→今回890例は28%減、定点当たり4.02→2.91。堺市で前週130例→今回87例は33%減であった。

麻疹や風疹の報告なし。